

K師の重賞本命と見解『ダービー卿』

オセアニア産の馬が3年前は勝ち、
2年前はオセアニアのG1でも連対したクルーガーが2着。

オセアニアの主流系統ダンチヒが好相性。
オセアニアは大型馬天国ですが、ダービー卿も大型馬の成績が特に優秀。

本命はギルデットミラー。

昨年末からの中山芝重賞で好調のオルフェーヴル産駒。
先月もクリノプレミアムが超人気薄で1着。
年明けの当コースでもライラックが1着。

オルフェーヴルはノーザンテーストの4×3を持ち、
当レース、当コースでも産駒が実績を残している
ダイワメジャーと同じくノーザンテースト色が強いサンデー系。

ダンチヒ系の大型馬が走りやすいレースも得意。

母型にもダンチヒを持つ馬。
スプリント指向の強い大型馬。当レース向き。

対抗はダーリントンホール。

父も母父もノーザンダンサー系の大型馬。
4年前に当レースを連対したマル外(オーストラリア産)の
キャンベルジュニアのようなタイプ。